

50周年記念式典 無事開催される



森町泉陽中 創立50年

森町泉陽中学校の創立50周年記念式典が、十日、同校で開催された。全校生徒六十一人と卒業生、教職員ら合わせて百八十人ほどが出陣し、半世紀の歴史を振り返るとともに、新たな飛躍を誓った。同校は一九六二年に三倉、天方面中学校を統合して開設された。五十周年記念事業として、校訓の「自主・協同」を刻んだ石碑を建て、浜松出身のオペラ歌手黒田晋也氏の編曲による校歌を合唱化した。

**新たな飛躍
歌声にのせ**

式典では、学校の歩みをスライドで振り返り、懐かしい写真の数々に会場が沸いた。黒田さんの指揮、妻野子さんの演奏で全校生徒が校歌を台唱。七月から練習を重ねてきた成果を発表すると、大きな拍手が送られた。また、一九九二年卒業生で浜松市の遠州病院麻酔科の鈴木祐二医師が「プレゼント」と題して講演。式典に続いて文化発表会「泉祭」が開かれた。

(同野 貴子)

新聞等にも掲載されすでに皆さん御存知かと思いますが、去る11月12日(土)に本校の創立50周年記念式典を挙行いたしました。

当日は森町長村松藤雄様、森町教育委員会教育長井上啓次郎様、歴代泉陽中校長の皆様、はじめ多数の御来賓の皆様に御臨席を賜り、保護者・在校生・職員他総勢180名ほどで記念すべき日を共に祝いました。

式典では町長様・教育長様に祝辞を賜った後、50年の歴史を振り返るスライド上映を3年生の奥宮さん、山田さんの進行で行いました。

続いて校歌編曲者の黒田晋也氏から編曲に当たったの思いを語っていただいた後、全校生徒で見事に合唱曲化された校歌を合唱しました。

記念講演会では、平成4年度本校卒業生で現在遠州病院麻酔科医師である講師の鈴木祐二氏が「プレゼント」と題して講演してくださいました。「未来は現在の延長線上にあり、現在を変えねば未来は変えられない、夢は実現しない」という内容で、生徒たちにとっても自分の現在やこれからの生き方を考えるいいきっかけとなりました。

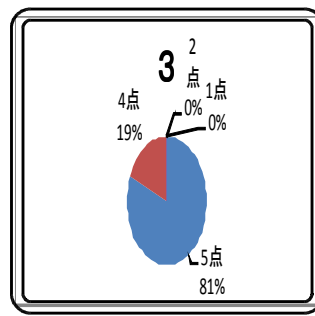
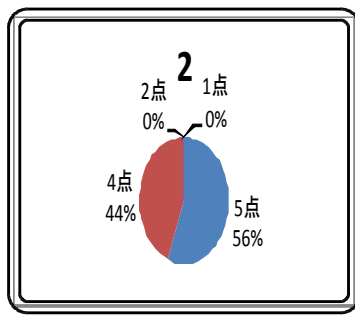
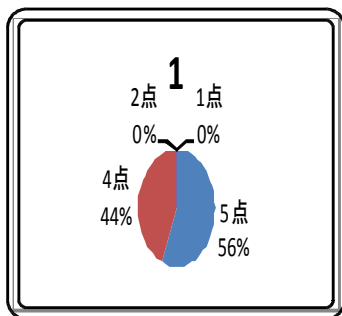
昨年度来1年以上かけて準備してきた記念式典ですが、これまでなにかと御支援・御協力賜りました保護者や地域の皆様のおかげで無事に終了できましたことを、改めて深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

(教頭 寺田敦朗)

50周年記念式典・泉祭 アンケート結果

(保護者・来賓)

- (1) 如-ガッ「心に刻め 思いよ届け！笑顔そして感動」に迫っていましたか？
 (2) 発表の場において精一杯取り組んでいましたか(合唱・ポスターセッション・選択など)
 (3) 創立50周年記念にふさわしい泉祭にできたと思われませんか



泉祭全体から印象に残ったこと、良かったと思うこと(複数回答)

1	体育館内外の飾り付け	25.0 %
2	記念式典・講演会	56.3 %
3	代表生徒の発表(総合・英語スピーチ)	12.5 %
4	選択授業の発表	43.8 %
5	ポスターセッション	37.5 %
6	学年合唱	75.0 %
7	全校合唱	68.8 %
8	作品展示(美術・技家)	43.8 %
8	その他()	

御感想・御意見

- 記念講演の内容を事前に知りたかった。
- 展示作品をもっと見たかった。
- 部活の大会と重なり残念。
- 泉陽の歴史に触れることができて良かった。
- 卒業生の講演で親しみが持てて良かった。
- 選択国語の劇が素晴らしかった。
- 校歌の合唱をととても楽しみにしていたが思っていた以上の出来だった。
- 合唱がとても良かった。
- みんなが協力して一生懸命取り組んでいる姿に感動した。
- 50周年にふさわしい会だった。
- とても良かった。
- ポスターセッション、合唱など一人一人が一生懸命に取り組んでいる姿に感動した。
- 式典と言っても形式的でなく泉陽中のこれまでを振り返る良い時間だった。
- 講演会はメッセージのある内容とユーモアある話し方でひきこまれた。
- 選択国語で一生懸命演じる姿に涙が出てしまった。
- 全校合唱「COSMOS」がとてもよく歌えていた。
- 思いの伝わる内容で、子どもたちの姿に成長を感じうれしかった。
- お囃子サプライズも校歌の合唱もプレゼンも先生方の「思い」があって成り立って実現したと思う、感謝します。